

【科目名】循環器疾患理学療法学		【担当教員】高橋洋						
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0655-0-1	(メールアドレス) hiros hit@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー)						
【開講時期】3 年次後期	【選択必修】必修	月、火、木、金 8 : 00～17 : 30						
【単位数】1	【コマ数】8							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識) 循環器の解剖・生理を復習しておくこと								
【講義概要】 (目的) 虚血性心疾患の原因、運動療法、運動強度の決め方、リスク分類について講義する。 高齢者の運動心電図、肥満と運動について講義する。 (方法) 資料を配布する。								
【一般教育目標(GIO)】 虚血性心疾患の理学療法が行えるために、虚血性疾患の病態、運動強度の決め方、運動療法、リスクについて理解する。高齢者に運動させるため、考慮すべき点について知識を得る。 【行動目標(SBO)】 虚血性心疾患の理学療法の原理が理解できる。高齢者に対する運動処方ができる。								
【教科書・リザーブドブック】								
【参考書】 吉尾雅春・高橋哲也（編）「内部障害理学療法学」医学書院、2013、¥5,250								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 期末試験、レポートにより総合的に評価する。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	0	100 点

平成 26～28 年度入学者用

評価指標	取り込む力・知識	○			○				
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢				○				
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)				時間(分)		
1	オリエンテーション 運動と生体反応、運動とエネルギー系、運動強度の決定	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
2	METs 循環器障害の分類	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
3	虚血性心疾患に対する運動療法、リスク管理	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
4	虚血性心疾患リハプログラム	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
5	末梢動脈循環障害	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
6	高齢者と運動	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
7	肥満と運動、高血圧と運動	講義、演習	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				30分		
8	心電図	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。				60分		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。